# AtermWL50T / WB50T / WB55TL

# Ｌモードの説明と使い方

2001 年 9 月

**【対応機種＆ソフト名】**

| 機種名 | ソ　フ　ト　名 | バージョン |
|---|---|---|
| AtermWL50T<br>AtermWB50T<br>AtermWB55TL | 本体 TA 機能用ファームウェア | Ver.1.50 以降 |
| | ベース本体用ファームウェア | Ver.4.10 以降 |
| | ユーティリティ(Windows 版) | Ver.4.10 以降 |
| | ユーティリティ(Macintosh 版) | Ver.3.00 以降予定　*1 |

**【著作権者】**　日本電気株式会社
**【対象ユーザ】**　上記の Aterm をご使用のお客様
**【転載条件】**　転載禁止

*1 Macintosh 版Ｌモード対応ユーティリティは２００１年１０月リリース予定です。

## もくじ

## 1.　お使いになる前に

### ファームウェアおよびユーティリティをバージョンアップする

Ｌモードの設定を行う前に、バージョンアップ用のファームウェアおよびユーティリティを入手して、それぞれのバージョンアップを行ってください。

**バージョンアップ**

AtermStation ホームページ http://aterm.cplaza.ne.jp/ の【バージョンアップ】コーナーで、ご使用の機種と OS を選択し、[GO!] ボタンをクリックしてください。「バージョンアップ」ページが表示されたら、「バージョンアップ方法」にしたがって、バージョンアップを行ってください。

**バージョンアップによる追加機能**

◆Windows の場合

本体ＴＡ機器用ファームウェア（Ver1.50 以降）のバージョンアップと Windows 用ユーティリティ（Ver4.10 以降）にバージョンアップすることでＬモードに対応できるようになります。ユーティリティバージョンが、Ver.1.××や Ver.2.××等の旧バージョンをお使いの方は、今回のバージョンアップで、アプリケーションプロファイリング機能や、ブロードバンド対応も可能となります。その際、設定時の導入ウィザードの画面や手順が変わりますので、AtermWL50T や AtermWB50T をご使用の方は AtermWB45RL/Aterm55TL の取扱説明書をご覧ください。

（AtermWB45RL/Aterm55TL の取扱説明書は「バージョンアップページ」のダウンロードコーナーの「取扱説明書等」に掲載されています）

ファームウェアやユーティリティの各バージョンの履歴は、ご使用の機種に対応した「バージョンアップ」ページを参照してください。

（バージョンが Ver.4.01 以降の方はすでに、アプリケーションプロファイリング機能とブロードバンドに対応しています）

◆Macintosh の場合

本体ＴＡ機器用ファームウェア（Ver.1.50 以降）のバージョンアップと macintosh 用ユーティリティ（2001 年 10 月リリース予定）にバージョンアップすることでＬモードに対応できるようになります。ユーティリティバージョンが、Ver.1.××や Ver.2.××等の旧バージョンをお使いの方は、今回のバージョンアップで、ブロードバンド対応も可能となります。その際、設定時の導入ウィザードの画面や手順が変わりますので、AtermWL50T や AtermWB50T をご使用の方は AtermWB45RL/Aterm55TL の取扱説明書をご覧ください。（AtermWB45RL/Aterm55TL の取扱説明書は「バージョンアップページ」のダウンロードコーナーの「取扱説明書等」に掲載されています）

ファームウェアやユーティリティの各バージョンの履歴は、ご使用の機種に対応した「バージョンアップ」ページを参照してください。

**《お知らせ》**

・ご利用になっているファームウェアやユーティリティのバージョンは、以下のようにして確認できます。

【Windows の場合】

らくらくアシスタントを起動し、メニュー画面の［ユーティリティのファイル情報］をクリックすると確認できます。

【Macintosh の場合】

ファームウェアのバージョンはらくらくバージョンアップで確認できます。（添付 CD-ROM の「機能詳細ガイド」「3　バージョンアップ」を参照してください。

ユーティリティのバージョンは、らくらくアシスタントメニュー画面の左下で確認してください。

・ブロードバンド対応やアプリケーションプロファイリング機能については、AtermStationのホームページで公開している「AtermWB45RL/WB55TLの取扱説明書/機能詳細ガイド」をご参照ください。

・WL50T/WB50Tには10BSE-Tポートが１つしかなく、ブロードバンドモデム接続時に10BASE-Tポートを使用するため、パソコンの10BASE-Tポート接続はできなくなります。

## 2.　Ｌモードについて

### 2.1　Ｌモードを利用するには

Aterm は、ファームウェア及びユーティリティをバージョンアップすることにより、Ｌモードに対応しました。Aterm にＬモード対応のアナログ通信機器を接続してご利用になれます。Ｌメールがメッセージセンタに届いたときに、Ｌモード対応のアナログ通信機器のディスプレイにメッセージがあることを表示させたり、Aterm の Message ランプを点灯させることができます。

● **必要な契約**

ＮＴＴのＩＳＤＮサービス「ＩＮＳネット６４」または「ＩＮＳネット６４ライト」の契約（有料）とＬモードの契約（有料）が必要です。

● **Aterm WARPSTAR らくらくアシスタントで必要な設定**

アナログポートに接続する機器を「FAX／モデム／Ｌモード対応電話機」に設定する必要があります。Aterm の Message ランプを点灯させるには、「メッセージあり情報通知表示」の設定が必要です。Aterm に接続したアナログ通信機器にメッセージがあることを通知してディスプレイなどに表示させるには、情報通知サービスの設定を「メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連)」に設定する必要があります。

■アナログポートに接続する機器の設定■(P6,7　参照)

| 機　能 | パソコンで設定 | 設定内容 |
|---|---|---|
| 接続する機器 | TA 機能の詳細設定画面（電話 A／B ポート）「よく利用する設定」 | 「FAX／モデム／Ｌモード対応電話機を接続」を選択する |

■アナログポートに接続したアナログ通信機器にメッセージがあることを通知させる場合■(P6,7　参照)

Ｌモードに対応したアナログ通信機器を接続しているアナログポートごとに設定が必要です。

| 機　能 | パソコンで設定 | 設定内容 |
|---|---|---|
| 情報通知サービス | TA 機能の詳細設定画面（電話 A／B ポート）「よく利用する設定」 | 「メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連)」または「ナンバー・ディスプレイ＋メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連)」を選択する |

■　Aterm の Message ランプを点灯させる場合■(P6,7　参照)

| 機　能 | パソコンで設定 | 設定内容 |
|---|---|---|
| メッセージあり情報通知表示 | TA 機能の詳細設定画面（共通設定）「着信設定」 | 「メッセージあり・なしを Message ランプで表示する」を設定する |

● **必要なアナログ通信機器**

Aterm のアナログポートには、Ｌモードに対応したアナログ通信機器を接続する必要があります。

● **開始の操作が必要**

Ｌモードをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

● **メッセージが届いたときの表示**

メッセージセンタからの情報が、Aterm に通知されると Message ランプが緑点灯します。

**《お知らせ》**

・「メッセージあり情報通知表示」を設定したアナログポートに設定する電話番号は、発信時に通知する番号と着信する番号とを同じにしてください。
・ S 点ユニットに他の INS ネット 64 用通信機器を接続している場合は、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。
・ おでかけ設定をフラッシュモードにしているときは、電話機には通知されません。
・ Ｌモードを利用できる電話番号は、各アナログポートに１つのみです。
・ Ｌモードに対応していないアナログ通信機器を接続しているときにメッセージセンタからの情報を受信しても、アナログ通信機器への通知は正しく行われません。
・ Aterm のランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの表示は一致しないことがあります。
・ Ｌモード対応アナログ通信機器の設定、およびメッセージの表示例については、アナログ通信機器の取扱説明書をご覧ください。
・ Ｌモードについては、詳しくは局番なしの 116 番または NTT 東日本／NTT 西日本の営業所等へお問い合せください。
・ Ｌモードに対応していない Aterm に取り付けられている高機能Ｓ点ユニットからブランチ接続でＬモードに対応している Aterm をつないだ場合は、Ｌモードを使用できません。
・ Ｌメールの通知と電子メール着信通知または UUI メール受信の両方がある場合には、Message ランプは「緑点灯→オレンジ点灯→…」をそれぞれ１秒づつ繰り返します。

## 2.2 ＩＮＳメッセージ到着お知らせサービスを利用するには

Aterm では、INS ネット 64 の **INS メッセージ到着お知らせサービス**をご利用になれます。

メッセージがメッセージセンタに届いたときに、Aterm の Message ランプを緑点灯させたり、INS メッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器に通知させることができます。

● **必要な契約**

INS メッセージ到着お知らせサービスの契約（有料）が必要です。

そのほかに INS メッセージ到着お知らせサービスを利用したサービスの契約（有料）が必要です。

● **AtermWARPSTAR らくらくアシスタントで必要な設定**

Aterm の Message ランプを緑点灯させるには、「メッセージあり・なし情報通知表示」の設定が必要です。

Aterm に接続したアナログ通信機器にメッセージがあることを通知してディスプレイなどに表示させるには、情報通知サービスの設定を「メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」に設定する必要があります。

また、メッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器が必要です。

INS メッセージ到着お知らせサービスを利用するには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

**■アナログポートに接続する機器の設定■**(P6,7　参照)

| 機　能 | パソコンで設定 | 設定内容 |
|---|---|---|
| メッセージあり情報通知表示 | TA 機能の詳細設定画面（共通設定）「着信設定」 | 「メッセージあり・なしを Message ランプで表示する」を設定する |

**■アナログポートに接続した電話機にメッセージがあることを通知させる場合■**(P6,7　参照)

メッセージあり情報を通知するアナログポートごとに設定が必要です。

| 機　能 | パソコンで設定 | 設定内容 |
|---|---|---|
| 情報通知サービス | TA 機能の詳細設定画面（電話 A／B ポート）「よく利用する設定」 | 「メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」または「ナンバー・ディスプレイ＋メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」を選択する |

● **必要なアナログ通信機器**

Aterm のアナログポートには、Ｌモードに対応したアナログ通信機器を接続する必要があります。

● **開始の操作が必要**

Ｌモードをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

**《お知らせ》**

- 「メッセージあり情報通知表示」を設定したアナログポートに設定する電話番号は、発信時に通知する番号と着信する番号とを同じにしてください。
- S 点ユニットに他の INS ネット 64 用通信機器を接続している場合は、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。
- おでかけ設定をフラッシュモードにしているときは、電話機には通知されません。
- INS メッセージ到着お知らせサービスを利用できる電話番号は、各アナログポートに１つのみです。
- メッセージ到着お知らせサービスに対応していないアナログ通信機器を接続しているときにメッセージセンタからの情報を受信しても、アナログ通信機器への通知は正しく行われません。
- Aterm のランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの表示は一致しないことがあります。
- INS メッセージ到着お知らせサービスの鳴動通知をご利用になる場合、着信を制約する設定（識別着信、迷惑電話防止など）によっては、通知されなくなります。
- Ｌモード対応アナログ通信機器の設定、およびメッセージの表示例については、アナログ通信機器の取扱説明書をご覧ください。
- INS メッセージ到着お知らせサービスについては、詳しくは局番なしの 116 番または NTT 東日本／NTT 西日本の営業所等へお問い合せください。
- Ｌモードに対応していない Aterm に取り付けられている高機能Ｓ点ユニットからブランチ接続でＬモードに対応している Aterm をつないだ場合は、Ｌモードを使用できません。
- INS メッセージ到着お知らせサービスと電子メール着信通知または UUI メール受信の両方がある場合には、Message ランプは「緑点灯→オレンジ点灯→…」をそれぞれ１秒づつ繰り返します。

## 3.　電話機から設定する

ユーティリティ（らくらくアシスタント）を使わなくても、電話機からＬモードを設定することが出来ます。

### ■ Ｌモードを設定する ■

**《接続する機器の設定》（接続する機器：Ｌモード対応電話機を接続する）**

①　受話器を上げる。
②　【＊】【＊】【６】【＊】を押す。
③　「電話 A ポート」に設定するときには【１】【０】【１】を押す。
　　「電話 B ポート」に設定するときには【１】【０】【２】を押す。
④　【＊】【２】【＃】を押す。
⑤　受話器を置く。

**《情報通知サービスの設定》**

①　受話器を上げる。
②　【＊】【＊】【１】【＊】を押す。
③　「電話 A ポート」に設定するときには【１】を押す。
　　「電話 B ポート」に設定するときには【２】を押す。
④　【＊】【１】【０】【＊】を押す。
⑤　「メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」に設定するときには【５】を押す。
　　「ナンバー・ディスプレイ＋メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」に設定するときには【６】を押す。
⑥　【＃】【＃】を押す。
⑦　受話器を置く。

※　情報通知サービスを解除する場合は、上記の手順⑤で、
　「メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」に設定するときには【０】を押す。
　「ナンバー・ディスプレイ＋メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」に設定するときには【1】を押す。
　と設定してください。

### ■ INS メッセージ到着お知らせサービスを設定する ■

**《情報通知サービスの設定》**

①　受話器を上げる。
②　【＊】【＊】【１】【＊】を押す。
③　「電話 A ポート」に設定するときには【１】を押す。
　　「電話 B ポート」に設定するときには【２】を押す。
④　【＊】【１】【０】【＊】を押す。
⑤　「メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」に設定するときには【５】を押す。
　　「ナンバー・ディスプレイ＋メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」に設定するときには【６】を押す。
⑥　【＃】【＃】を押す。
⑦　受話器を置く。

※　情報通知サービスを解除する場合は、上記の手順⑤で、
　「メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」に設定するときには【０】を押す。
　「ナンバー・ディスプレイ＋メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連）」に設定するときには【1】を押す。
　と設定してください。

※　有効でないボタンを押すと受話器から「ププププ」と言うエラー音が聞こえます。
　正しい値を入力し直して下さい。

# 4. らくらくアシスタントで設定する

## 4.1 Windows の場合

### ■ アナログポートの詳細設定画面を表示する ■

1．らくらくアシスタントを起動する。
2．［TA 機能の詳細設定］をクリックする。
3．［設定画面／機能］の［アナログポート］をクリックする。
4．［電話Ａポート］／［電話Ｂポート］／［共通設定］をクリックする。
5．［設定項目選択］の項目をクリックする。
　それぞれの設定画面が表示されます。

### ■［電話Ａ（基本)］／［電話Ｂ（基本)］の設定 ■

1．［設定項目選択］の［よく利用する設定］をクリックする。
2．項目を設定する。

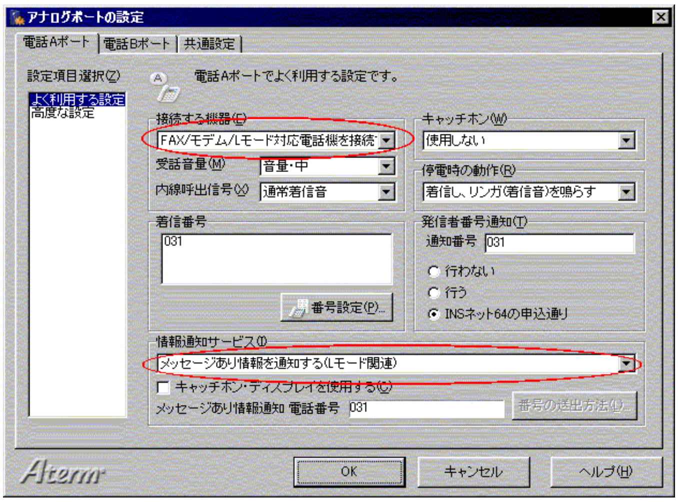
**［接続する機器］**

「FAX／モデム／Ｌモード対応電話機を接続する」を選択する。

**［情報通知サービス］**

「メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連)」または、「ナンバー・ディスプレイ＋メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連)」を選択する。

3．［OK］ボタンをクリックする。




### ■ ［着信共通設定］の設定 ■

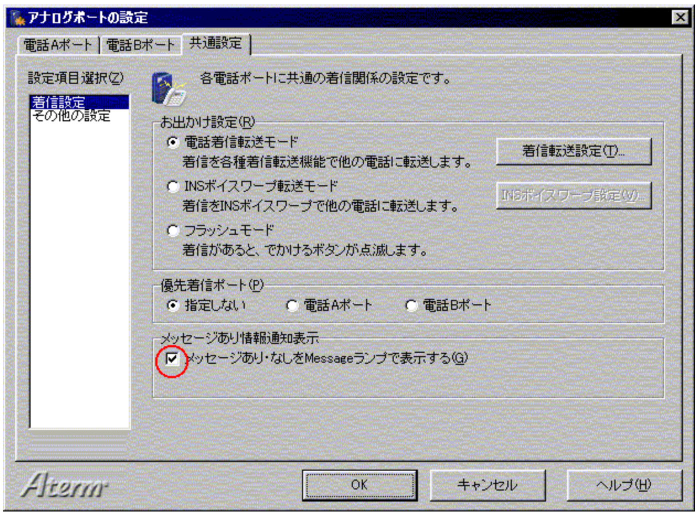
1．［設定項目選択］の［着信設定］をクリックする。
2．項目を設定する。

**［メッセージあり情報通知表示］**

「メッセージあり・なしを Message ランプで表示する」

のチェックボックスにチェックする。

3．［OK］ボタンをクリックする。



## 4.2 Macintosh の場合

Macintosh 用のユーティリティ（らくらくアシスタント）は２００１年１０月リリース予定です

### ■ アナログポートの詳細設定画面を表示する ■

1．らくらくアシスタントを起動する。
2．[TA 機能の詳細設定］をクリックする。
3．[設定画面／機能］の［アナログポート］をクリックする。
4．[電話Ａポート］／［電話Ｂポート］／［共通設定］をクリックする。
5．[設定項目選択］の項目をクリックする。
　それぞれの設定画面が表示されます。

### ■ [電話Ａ（基本)］／［電話Ｂ（基本)］の設定 ■

1．[設定項目選択］の［よく利用する設定］をクリックする。
2．項目を設定する。

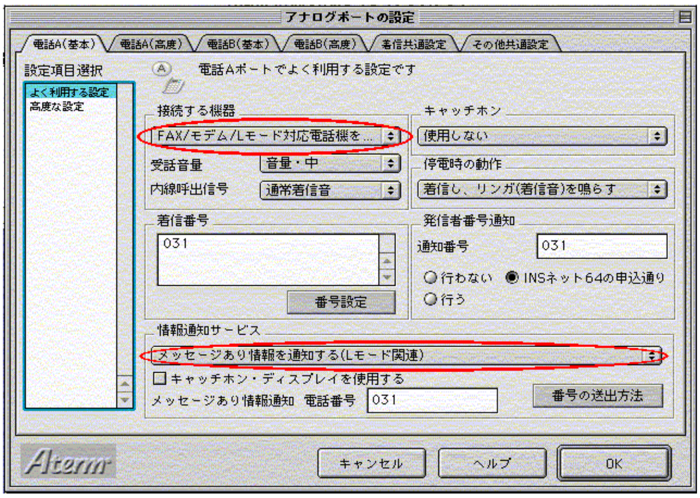
**[接続する機器]**

「FAX／モデム／Ｌモード対応電話機を接続する」を選択する。

**[情報通知サービス]**

「メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連)」または、「ナンバー・ディスプレイ＋メッセージあり情報を通知する（Ｌモード関連)」を選択する。

3．[OK］ボタンをクリックする。



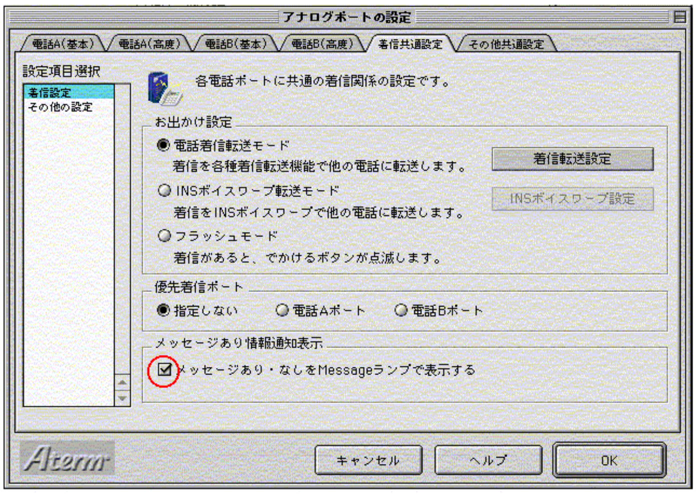

### ■ ［着信共通設定］の設定 ■

1．[設定項目選択］の［着信設定］をクリックする。
2．項目を設定する。

**[メッセージあり情報通知表示]**

「メッセージあり・なしを Message ランプで表示する」のチェックボックスにチェックする。

3．[OK］ボタンをクリックする。



## 5. AT コマンドで設定する

| $A | 電話 A ポートの設定と表示 |
|---|---|
| 機能 | 電話 A ポートの設定と表示を行います。 |
| 書式 | AT$A＜パラメータ 1＞＜=パラメータ 2＞ |
| パラメータ | ＜パラメータ 1＞＜パラメータ 2＞<br>0 ：設定内容を表示する<br>1 ：接続する機器<br>1=0：電話機（初期値）<br>1=1：FAX／モデム／L モード対応電話機<br>1=2：使用しない<br>11：情報通知サービス設定<br>11=0：情報通知サービスしない（初期値）<br>11=1：ナンバー・ディスプレイを使用する<br>11=2：モデム・ダイヤルインを使用する<br>11=3：アナログ・ダイヤルインを使用する<br>11=4：ナンバー・ディスプレイ+モデム・ダイヤルインを使用する<br>11=5：メッセージあり情報を通知する（L モード関連）<br>11=6：ナンバー・ディスプレイ+メッセージあり情報を通知する（L モード関連） |
| 入力例 | AT$A1=1 |

| $B | 電話 B ポートの設定と表示 |
|---|---|
| 機能 | 電話 B ポートの設定と表示を行います。 |
| 書式 | AT$B＜パラメータ 1＞＜=パラメータ 2＞ |
| パラメータ | $A と同じです。 |
| 入力例 | AT$B1=1 |

| ￥F | メッセージあり情報通知表示の設定と表示 |
|---|---|
| 機能 | メッセージあり情報通知表示の設定と表示を行います。 |
| 書式 | AT￥F ＜パラメータ 1＞＜=パラメータ 2＞ |
| パラメータ | ＜パラメータ 1＞＜パラメータ 2＞<br>0 ：設定内容を表示する<br>2 ：メッセージあり情報通知表示の設定<br>2=0：表示しない<br>2=1：表示する（初期値） |
| 入力例 | AT￥F2=1 |

**《お知らせ》**

**本 AT コマンドを使用する場合は**

- **Aterm WL50T/WB50T の場合**
  商品に添付の CD-ROM に収録されている、『データ通信ガイド』「TA モードで使う」
- **Aterm WB55TL の場合**
  商品に添付の CD-ROM に収録されている、『機能詳細ガイド』「USB-TA モードで使う」

を参照してください。